

# 第1回 学校評価結果のお知らせ

松山市立姫山小学校 <http://himeyama-e.esnet.ed.jp/>

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。1 学期末に行った児童アンケート、保護者アンケート、教職員自己評価の結果についてお知らせいたします。今回の結果を教職員で共通理解し、今後の教育活動に活かして参ります。

なお、本結果は、ホームページにも掲載しています。

【評 定】 4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない  
【肯定率】 評定 4 と 評定 3 の合計値 (%)

## 1 評価結果

| 番号 | 対象  | 質 問 項 目                                                    | 肯定率 (%) | 評定平均 |
|----|-----|------------------------------------------------------------|---------|------|
| 1  | 児童  | 楽しく学校に通っている。                                               | 90      | 3.5  |
|    | 保護者 | お子様は、毎日楽しく学校生活を送っている。                                      | 96      | 3.5  |
|    | 教職員 | 教育目標「自ら学び、ともに生きるたくましい姫山っ子の育成」の実現に向け、効果的な教育活動を実施している。       | 81      | 3.2  |
| 2  | 児童  | 授業は楽しく分かりやすい。                                              | 95      | 3.6  |
|    | 保護者 | お子様は、授業内容をよく理解し、楽しく学習に取り組んでいる。                             | 88      | 3.2  |
|    | 教職員 | 一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。                           | 77      | 3.1  |
| 3  | 児童  | パソコン(タブレット)や投影機を使った授業は楽しく、分かりやすい。                          | 92      | 3.6  |
|    | 保護者 | 学校(先生)は、授業の中でパソコン(タブレット)や実物投影機等の情報機器を効果的に活用している。           | 97      | 3.5  |
|    | 教職員 | 教科等の指導においてタブレットの活用等、効果的に ICT を活用している。                      | 84      | 3.4  |
| 4  | 児童  | テストのできなかったところを見直したり、間違いを直したりしている。                          | 87      | 3.4  |
|    | 児童  | 宿題などの家庭学習や読書を、毎日がんばっている。                                   | 85      | 3.3  |
|    | 児童  | 進んで体を動かし、体力づくりにはげんでいる。                                     | 81      | 3.3  |
|    | 保護者 | お子様は、家庭で学習や読書、体力づくりを頑張っている。                                | 82      | 3.1  |
|    | 教職員 | 児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。                     | 84      | 3.4  |
| 5  | 保護者 | 学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。                    | 96      | 3.3  |
|    | 教職員 |                                                            | 83      | 3.3  |
| 6  | 児童  | 友達に優しくし、仲よく過ごしている。                                         | 96      | 3.6  |
|    | 保護者 | お子様は、思いやりをもち、友達と仲よく過ごしている。                                 | 94      | 3.4  |
|    | 教職員 | 人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。                      | 89      | 3.6  |
| 7  | 保護者 | 学校(先生)は、生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている。                | 90      | 3.3  |
|    | 教職員 | 「学校のきまり」(学校生活のしおりに記載)など生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている。 | 90      | 3.6  |

|    |     |                                                                                        |     |     |
|----|-----|----------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 8  | 保護者 | 学校は、警報発令時の対応について明確に示すとともに、定期的に避難訓練などを行い、防災教育の指導に努めている。                                 | 100 | 3.6 |
|    | 教職員 |                                                                                        | 91  | 3.6 |
| 9  | 児童  | 進んで学習や仕事をし、将来の夢に向かってがんばっている。                                                           | 89  | 3.4 |
|    | 保護者 | お子様は、進んで手伝いや仕事をするなど勤労意欲を高めたり、将来の夢に向かって努力をしたりしている。                                      | 71  | 2.9 |
|    | 教職員 | 将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている。                                                      | 78  | 3.1 |
| 10 | 児童  | 学校は、きれいで安全な環境になっている。<br>(安全な学習の場、けがの予防、避難訓練、交通安全)                                      | 95  | 3.6 |
|    | 保護者 | 学校は、交通安全やけがの防止に関する指導、警報発表等の非常変災時の適切な対応等、安全な環境づくりに努めている。                                | 97  | 3.4 |
|    | 教職員 | 児童に交通安全やけが等の防止、非常変災時について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。                                   | 98  | 3.9 |
| 11 | 児童  | 「早寝・早起き・朝ご飯」・手洗いなど自分の生活や健康に気を付けている。                                                    | 87  | 3.3 |
|    | 保護者 | お子様は、自分の生活や健康に気を付けるなど、基本的生活習慣が身に付いている。                                                 | 87  | 3.1 |
|    | 教職員 | 個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている。                                       | 92  | 3.7 |
| 12 | 保護者 | 学校は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている。                                                         | 96  | 3.7 |
|    | 教職員 |                                                                                        | 90  | 3.6 |
| 13 | 児童  | 先生は、親切に相談にのってくれる。                                                                      | 95  | 3.6 |
|    | 児童  | 先生は、自分のよいところを認めてくれる。                                                                   | 98  | 3.7 |
|    | 保護者 | 学校(先生)は子どもたちのことをよく理解し、一人一人を伸ばそうとしている。                                                  | 91  | 3.3 |
|    | 教職員 | 特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。                                                 | 87  | 3.5 |
| 14 | 保護者 | 管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。                                                           | 94  | 3.3 |
|    | 教職員 |                                                                                        | 92  | 3.7 |
| 15 | 保護者 | 子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。                                     | 97  | 3.4 |
|    | 教職員 |                                                                                        | 85  | 3.4 |
| 16 | 児童  | ふるさと姫山のことを学ぶのは楽しい。                                                                     | 93  | 3.5 |
|    | 児童  | 学校の行事や活動は楽しい。                                                                          | 96  | 3.7 |
|    | 保護者 | 学校(先生)は、保護者や地域と連携して地域の特性を生かした行事や活動を実施し、子どもたちも楽しく活動している。<br>*連携: 学年活動時の地域の講師や保護者ボランティア等 | 98  | 3.4 |
|    | 教職員 | 教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。                                                           | 91  | 3.6 |
| 17 | 保護者 | お知らせ文書や学年だより・学校通信、ホームページや tetoru 等により、積極的に情報を発信している。                                   | 98  | 3.5 |
|    | 教職員 |                                                                                        | 84  | 3.4 |
| 18 | 保護者 | 学校(先生)は、授業の中で板書(黒板)を工夫したり、教室・校内の掲示物を充実させたりしている。                                        | 97  | 3.5 |
|    | 教職員 | 言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。                                                           | 83  | 3.3 |

|    |     |                                                                  |    |     |
|----|-----|------------------------------------------------------------------|----|-----|
| 19 | 保護者 | 学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために、関係園・校で連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。 | 90 | 3.2 |
|    | 教職員 |                                                                  | 79 | 3.2 |
| 20 | 保護者 | 学校は、幼稚園・保育園・他小学校・中学校で、連携して児童への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。    | 92 | 3.2 |
|    | 教職員 |                                                                  | 81 | 3.3 |

## 2 アンケートの考察

全体として、学校生活への満足度や安全面への信頼が非常に高い一方で、家庭学習の習慣化や将来への意欲については、立場によって捉え方に差が見られる。

### ○ 学校生活の充実と信頼関係

児童の90%が「楽しく学校に通っている」と回答し、保護者の肯定率は96%に達している。また、先生は自分のよいところを認めてくれる」という項目に対し、児童の98%が肯定しており、教員と児童の良好な関係が築かれていることが伺える。さらに、「友達に優しくし、仲よく過ごしている」という児童の肯定率も96%と非常に高くなっている。

### ○ 学習活動とICTの活用

タブレット端末や投影機を使った授業については、児童、保護者、教職員といずれも高い肯定率を示しており、効果的に活用されていると評価できる。また、児童の95%が授業を「楽しく分かりやすい」と感じている一方で、教職員側の「共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている」という肯定率は77%に留まっており、指導の質の向上に対して教職員がより高い課題意識をもっていることが分かる。

### ○ 安全管理と情報発信

警報発令時の対応や避難訓練などの防災教育については、保護者の肯定率は100%という極めて高い数値を示している。また、交通安全やけがの防止に関する指導についても、全対象者から高い信頼を得ている。ホームページや「tetoru」等を利用した情報発信について、保護者の98%が「積極的である」と肯定しており、今後も地域や保護者との連携を図っていききたい。

## 3 保護者の皆様からのご意見と学校の回答

貴重なご意見をありがとうございました。ご意見の中に、教職員への励ましのお言葉がたくさんありました。教職員一同お礼申し上げます。

下に、ご意見と回答をまとめました。限られた紙面ですので、全てのご意見に回答させていただくことは困難なことをご理解いただきますようお願いいたします。なお、同じご意見が複数の場合や長文の場合は、簡略させていただいていることもご了承ください。

- 学習の理解はいまひとつだが、学校自体は楽しいようで安心している。学習は根気強く、学校だけでなく自宅などでも進めていけるようにしたい。
- 勉強もそれ以外の学校生活も、おおむね楽しめているようで、ほっとしています。苦手なことにも目を配り、頑張る方向に導いてくださってありがとうございました。
- いつもありがとうございます。クラスの雰囲気がいいようで、毎日楽しく登校しています。
- 初めて本当に将来の子どものことを考えてくれる先生に出会いました。人間的な指導までしていただき心から感謝しています。
- 新しい教科が増え、勉強についていけるか不安もありましたが、なんとか理解しているようで、ほっとしています。本人のやる気が出るよう、導いてくださり、ありがとうございました。
- 人見知りで毎年先生が変わるたび心配をしていますが、丁寧に娘のことをよく見てくださり、毎日楽しそうに通学している様子を見て安心しています。先生がいない日は寂しそうにしています。これからもよろしくお願いいたします。
- 高学年になり勉強も難しくなり委員会も始まり、習い事もあり毎日忙しそうにしていますが、不満をいうことなく充実した毎日を送っていて安心しています。これも先生が時に厳しく、時に優しく丁寧に関わってくださっているおかげです。学校の出来事も色々と話してくれ、聞いていて楽しいです。いつもありがとうございます。
- いつも楽しく学校に通うことができおり、感謝しております。子どもの思いがうまく表現できず、どう行動すればよいか迷っているような時にも、丁寧に対応してくださりありがとうございます。

| ご意見      |                                                                                                                                                                                     | 学校の回答                                                                                                                                                 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 登下校・登校時間 | ○ 朝の登校時間が早過ぎると思います。子どもの集中力を維持するためにも、朝の時間を8時からではなく、8時10分にするのを提案します。また、朝の委員会活動（清掃活動など）を見直し、教育活動全体を子どもの実態に合わせ、柔軟に再設計していただくことを希望します。睡眠時間の確保、朝食欠食率の改善のためにも抜本的な改革を望みます。持続可能な体制づくりを検討願います。 | 定期的に学校運営に関する話し合いを行っています。登校から下校までの時間帯に関しては、現状の流れがベストだと考えています。登校を遅らせることを考えると、下校時刻がさらに遅くなり、家庭学習や塾、習い事の時間に影響が出ることが予想されます。様々なご意見があるかと思いますが、ご理解・ご協力をお願いします。 |
|          | ○ 登下校時のお喋りや二列は危険だとは思いますが、子どもたちのコミュニケーションはそういうところで作られるのではないかな？と思います。                                                                                                                 | 学校としては、今後も地域の方々やご家庭と連携しながら子どもの命、安全を第一に考えて登下校時の指導を継続してまいります。一方で、子ども同士がコミュニケーションを図ることも大切に考え、活動を工夫していきます。                                                |
|          | ○ 児童クラブに向かう一年生がまとまらずバラバラで向かっているの、とてもハラハラしています。                                                                                                                                      | 児童への指導、見守りを継続して行っています。                                                                                                                                |
| H P      | ○ 学校のH Pの更新が今年度になって回数が減っているように思います。活動の様子をぜひ知らせていただきたいです。                                                                                                                            | 各学年、学校における行事の際には、発信するよう心掛けています。皆さんに学校の様子をたくさん届けられるよう、配信していきます。                                                                                        |
| 保健       | ○ コロナの流行などがまだ見られる状態で室内で声を出すと言う時にマスクを外すように言われることがあると聞きますが、それは今の感染症流行などを見てどうなのでしょう。                                                                                                   | マスクの着脱については、任意となっていますが、7月からの猛暑もあり、熱中症も懸念せざるを得ない状況です。もちろん、感染症についても注意を払っております。状況に応じた声掛けをしています。                                                          |
| 学習       | ○ 毎日の自主勉強の宿題について、子どもが「何を書いていいかわからない」と悩み、結局はただページを消化するためだけに文字を埋める時間になってしまっています。親が急かしてなんとか提出している状態で、学習効果も感じられません。少しでも意味のある取り組みにするための声掛けのこつなどがあれば、教えていただきたいです。                         | 学校から「家庭学習の手引き」を各学年で配付しています。各学年に応じた自主勉強の内容を書いていますので、お声掛けされる際に参考にしてください。                                                                                |
| 参観日      | ○ 長期休みの前に道具箱を持ち帰らせないでほしい。補充が必要なもの（のりや色鉛筆？など）だけでよい。                                                                                                                                  | 長期休業中には、一度持ち帰り、中身を整理したり、箱を洗ったりして新学期への気持ちを高める効果もあります。ご協力、よろしくお願いします。                                                                                   |
| 教育活動全般   | ○ ランドセルが重たい。                                                                                                                                                                        | 持ち物については、必要最低限のものを持ち帰らせるよう、各学年で話し合い、工夫しています。                                                                                                          |
|          | ○ 体育の着替えは、1年生から男女別にしてほしい。公衆浴場では7歳以上が異性の浴場に入ることが禁止されていたり、文部科学省は学年に関わらず男女別での着替えを求めているのに、なぜ1・2年生は一緒に着替えているのか。何かしらの対策をして全学年男女別で着替えている自治体も多い中、遅れていると感じる。                                 | 着替えについては、低学年においても男女別での対応をしていきます。                                                                                                                      |

|        |                                                                                                       |                                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育活動全般 | ○ コロナでなくなった家庭訪問ですが、松山市内の学校でもしている学校もあるそうです。できれば、学期の最初には先生とお話ししておきたいです。                                 | 保護者との顔合わせや情報共有はとても大切なことだと考えています。もし、学校への相談等ありましたら、気軽にお問い合わせください。                                                             |
|        | ○ ひまわり学級の支援員さんを各クラスに1名ずつ配置していただきたい。                                                                   | 松山市教育委員会に配置数増の希望を出しています。現状では、校内の連携を強化し、個に応じた指導に努めます。                                                                        |
|        | ○ 運動会のダンスを全学年にして欲しい。                                                                                  | 松山市内の小学校では、子どもたちの健康・安全面の配慮から運動会を午前中開催としています。短い練習期間やプログラム数の制限の中で、子どもたちが良い経験ができることを主眼に種目を考えています。表現（ダンス）については、1年、4年、6年が取り組みます。 |
| 教職員    | ○ 男子と女子で怒る時の対応が違うとよく聞いている。頭ごなしに怒るのではなく、冷静に指導をお願いします。                                                  | 威圧的に関わらないよう、子どもの気持ちに寄り添い、意欲を引き出す指導を心掛けていきます。また、教職員間で子どもたちへの対応について相談や情報共有を行い、一人一人の子どもを伸ばす指導に努めてまいります。                        |
|        | ○ 子どもたちを注意する際に大声を出したり、「おまえ」と言ったりする先生がおり、子どもがその先生の授業を受けるのを嫌がっています。腹立たしく思う気持ちも分かるのですが、もう少し怒り方を考えてほしいです。 |                                                                                                                             |
| その他    | ○ 夏休みの宿題を無くしてほしい。平日共働きをしていて、せっかくの週末休みにゆっくりしたかったり出掛けたりしたいのに、宿題の補助や確認に追われる。                             | 普段の学校生活ではできない子どもの学びとして、夏休みの課題を設定しています。また、来年度の参考にさせていただきます。                                                                  |
|        | ○ 教室のカーペットの衛生面が気になります。入学後、子どものアレルギーがひどくなっており、薬も毎日飲んでいきます。フローリングに変えていただきたいです。                          | カーペットは定期的に業者のクリーニングを行っています。                                                                                                 |
|        | ○ 朝の旗当番が負担。前から言っているが地域差があるのはおかしい。仕事があるのでできない。PTA活動も段々増えてきて負担である。                                      | PTAにご意見を届けました。今年度、安全な通学経路について見直しを図っているところで、登校時の見守りについても実態に合う方法を来年度4月からの実施に向けて検討中だそうです。                                      |
|        | ○ 児童クラブの夏休みだけの利用を作してほしい。                                                                              | 松山市のHPを見てみると、夏休みだけの利用は難しいようです。詳しいことは児童クラブへお問い合わせください。<br>(TEL927-4611 姫山児童クラブ第1)                                            |